

6 months by baseline variables. Mod Rheumatol 19 (6): 652-656, 2009.

15. Nakamura H, Okada A, Kawakami A, Yamasaki S, Ida H, Masuda T, Fukuda T, Satoh K, Yoshimura T, Nakashima M, Hayashi T, Eguchi K: Rheumatoid vasculitis of crural muscles confirmed by muscle biopsy in the absence of inflammatory myopathy: histologic and MRI study. Rheumatol Int 2009.

16. Nakamura H, Okada A, Kawakami A, Yamasaki S, Ida H, Motomura M, Imanishi D, Eguchi K: Isoniazid-triggered pure red cell aplasia in systemic lupus erythematosus complicated with myasthenia gravis. Rheumatol Int 2009.

17. Kawashiri SY, Kawakami A, Fujikawa K, Iwamoto N, Aramaki T, Tamai M, Nakamura H, Origuchi T, Ida H, Eguchi K: Type B insulin resistance complicated with systemic lupus erythematosus. Intern Med. 2010;49(5):487-90.

18. Kawashiri S, Kawakami A, Yamasaki S, Imazato T, Iwamoto N, Fujikawa K, Aramaki T, Tamai M, Nakamura H, Ida H, Origuchi T, Ueki Y, Eguchi K: Effects of the anti-interleukin-6 receptor antibody, tocilizumab, on serum lipid levels in patients with rheumatoid arthritis. Rheumatol Int 2009.

19. 井田弘明, 江口勝美: 【膠原病 病態解明・新規治療の光明】 特論 新しい疾患概念'自己炎症症候群' . 日本臨床 67 (3): 626-636, 2009.

20. 井田弘明, 右田清志, 江口勝美: 【リウマチ性疾患診療における日本のエビデンス】 わが国における TRAPS の診断と治療. リウマチ科 41 (1): 62-70, 2009.

21. 井田弘明, 江口勝美: Autoinflammation

(自己炎症). 感染・炎症・免疫 39 (2): 92-105, 2009.

22. 井田弘明, 江口勝美: 【自己炎症疾患】 自己炎症疾患(遺伝性周期熱症候群)とは. Topics in Atopy 8 (3): 4-7, 2009.

2. 学会発表

国内学会

第 284 回日本内科学会九州地方会, 2009.1.24, 砂川賢二, 福岡.

一般口演: 中浦美江, 荒牧俊幸, 川尻真也, 岩本直樹, 藤川敬太, 中村英樹, 井田弘明, 川上 純, 折口智樹, 江口勝美. シェーグレン症候群に合併した組織球性壊死性リンパ節炎(菊池病)の 1 例.

第 37 回九州リウマチ学会, 2009.3.14-15, 進藤裕幸, 長崎.

一般口演: 川尻真也, 岩本直樹, 藤川敬太, 荒牧俊幸, 玉井慎美, 有馬和彦, 蒲池 誠, 山崎聡士, 中村英樹, 井田弘明, 川上 純, 折口智樹, 江口勝美. TNF 阻害薬効果不十分症例から抗 IL-6 受容体抗体トシリズマブへの切り替え.

ポスター: 武富 梓, 岩本直樹, 荒牧俊幸, 川尻真也, 藤川敬太, 蒲池 誠, 玉井慎美, 中村英樹, 山崎聡士, 井田弘明, 川上 純, 折口智樹, 江口勝美. ミゾリピン投与により SIADH をきたした関節リウマチの 1 例.

ポスター: 中島好一, 塚田敏昭, 蔵岡 愛, 中村英樹, 井田弘明, 川上 純, 江口勝美. 皮膚潰瘍を主徴とした Wegener 肉芽腫症の一例.

ポスター: 岡田覚丈, 中村英樹, 山崎聡士, 井田弘明, 川上 純, 本村政勝, 江口勝美. 全身性エリテマトーデス及び重症筋無力症の経過中にイソニアジド投与を契機として発症した赤芽球癆の一例.

一般口演: 山崎聡士, 塚田敏昭, 今里孝

宏, 植木幸孝, 藤川敬太, 荒牧俊幸, 岩本直樹, 川尻真也, 玉井慎美, 有馬和彦, 蒲池 誠, 中村英樹, 井田弘明, 折口智樹, 川上 純, 江口勝美.

生物学的製剤投与経過中に発症した感染症症例の検討.

ポスター: 中浦美江, 荒牧俊幸, 木下直江, 中村英樹, 井田弘明, 折口智樹, 川上 純, 大島孝一, 江口勝美.

シェーグレン症候群に合併した組織球性壊死性リンパ節炎の一例

**第 106 回日本内科学会講演会,
2009.4.10-12, 岡 芳知, 東京.**

ポスター: 井田弘明, 有馬和彦, 一瀬邦弘, 三嶋博之, 吉浦孝一郎, 江口勝美.

ポストゲノム時代の蛋白機能解析における自己炎症疾患の役割の検討.

第 53 回 日本リウマチ学会総会・学術集会, 2009.4.23-26, 小池隆夫, 東京.

シンポジウム: 川上 純, 玉井慎美, 岩本直樹, 川尻真也, 藤川敬太, 荒牧俊幸, 一瀬邦弘, 有馬和彦, 蒲池 誠, 中村英樹, 井田弘明, 折口智樹, 上谷雅孝, 青柳 潔, 江口勝美.

関節リウマチを早期に予測するには?

パネルディスカッション: 藤 秀人, 井田弘明, 佐々木均, 江口勝美.

関節リウマチ患者に対するメトトレキサートの時間治療を導入した一例.

ワークショップ: 藤川敬太, 川上 純, 川尻真也, 岩本直樹, 荒牧俊幸, 蒲池 誠, 有馬和彦, 玉井慎美, 山崎聡士, 中村英樹, 塚田敏昭, 折口智樹, 井田弘明, 江口勝美. 神経ベーチェット病に対する infliximab の治療効果

ワークショップ: 逸見朋子, 藤川敬太, 川尻真也, 岩本直樹, 荒牧俊幸, 蒲池 誠, 有馬和彦, 玉井慎美, 山崎聡士, 中村英樹,

塚田敏昭, 折口智樹, 井田弘明, 川上 純, 江口勝美.

筋膜優位に炎症を認めた炎症性筋疾患 3 症例の検討.

ワークショップ: 井田弘明, 荒牧俊幸, 有馬和彦, 川尻真也, 岩本直樹, 藤川敬太, 蒲池 誠, 玉井慎美, 中村英樹, 折口智樹, 川上 純, 右田清志, 江口勝美.

TRAPS 全国免学調査と TRAPS が疑われた不明熱症例の検討(第 3 報).

ワークショップ: 井田弘明, 有馬和彦, 一瀬邦弘, 江口勝美.

ポストゲノム時代の蛋白機能分析における自己炎症疾患の役割検討.

ワークショップ: 川尻真也, 川上 純, 植木幸孝, 右田清志, 宮下賜一郎, 溝上明成, 岩本直樹, 藤川敬太, 荒牧俊幸, 玉井慎美, 中村英樹, 井田弘明, 折口智樹, 江口勝美.

関節リウマチにおけるトシリズマブの臨床データの検討(西九州自己免疫疾患研究会).

ワークショップ: 川上 純, 玉井慎美, 岩本直樹, 川尻真也, 藤川敬太, 荒牧俊幸, 一瀬邦弘, 蒲池誠, 中村英樹, 井田弘明, 折口智樹, 有馬和彦, 山崎聡士, 上谷雅孝, 青柳 潔, 江口勝美.

MRI 骨変化と自己抗体が陽性の UA に対する DMARDs 治療の評価.

ワークショップ: 玉井慎美, 川上 純, 上谷雅孝, 有馬和彦, 岩本直樹, 藤川敬太, 山崎聡士, 川尻真也, 荒牧俊幸, 一瀬邦弘, 蒲池 誠, 中村英樹, 井田弘明, 折口智樹, 青柳 潔, 江口勝美.

診断未確定関節炎(UA)における非造影手関節 MRI の有用性の検討.

ワークショップ: 岩本直樹, 川上 純, 中村英樹, 玉井慎美, 折口智樹, 井田弘明, 上谷雅孝, 江口勝美.

関節症状を呈するシェーグレン症候群に

おける手関節 MRI 所見の検討.

ワークショップ：有馬和彦，岩本直樹，玉井慎美，折口智樹，川尻真也，藤川敬太，荒牧俊幸，蒲池 誠，山崎聡士，中村英樹，井田弘明，川上 純，江口勝美.

早期関節リウマチ患者での MRI 骨髄浮腫と MMP-1 遺伝子多型.

ポスター：塚田敏昭，江口勝美，川上 純，井田弘明.

リウマチ・膠原病疾患における非定型抗酸菌症の臨床的検討.

ポスター：中村英樹，川上 純，岩本直樹，山崎聡士，井田弘明，江口勝美.

シェーグレン症候群(SS)唾液腺上皮細胞における Fas および TRAIL 誘導性アポトーシスの差異について.

ポスター：喜多潤子，中村英樹，川上 純，山崎聡士，井田弘明，江口勝美.

器質化肺炎と多発病的骨折を伴う

Fanconi 症候群を合併した原発性シェーグレン症候群の一例.

ポスター：廣瀬めぐみ，藤川敬太，川尻真也，岩本直樹，荒牧俊幸，蒲池 誠，有馬和彦，玉井慎美，山崎聡士，中村英樹，折口智樹，井田弘明，川上 純，江口勝美.

難治性ループス腸炎 3 症例の検討.

ポスター：玉井慎美，川上 純，上谷雅孝，有馬和彦，岩本直樹，藤川敬太，川尻真也，荒牧俊幸，一瀬邦弘，蒲池 誠，山崎聡士，中村英樹，井田弘明，折口智樹，青柳 潔，江口勝美.

診断未確定関節炎の評価.

ポスター：岩本直樹，藤川敬太，玉井慎美，中村英樹，折口智樹，井田弘明，上谷雅孝，江口勝美.

関節リウマチにおける生物学的製剤投与前後の手関節 MRI の検討.

ポスター：折口智樹，岩本直樹，川尻真也，藤川敬太，荒牧俊幸，蒲池 誠，有馬和彦，玉井慎美，中村英樹，山崎聡士，井田弘明，川上 純，植木幸孝，福田孝昭，松岡直樹，河部庸次郎，中島宗敏，溝上明成，峰 雅宣，江口勝美.

エタネルセプトの関節リウマチ患者の神経ペプチドに対する影響.

ポスター：野中文陽，岩本直樹，川尻真也，藤川敬太，荒牧俊幸，中村英樹，折口智樹，井田弘明，川上 純，江口勝美.

成人発症スティル病として治療されていたが，経過中血管内リンパ腫の診断に至った 1 例.

ポスター：中野みち子，川尻真也，岩本直樹，藤川敬太，荒牧俊幸，玉井慎美，有馬和彦，山崎聡士，中村英樹，井田弘明，川上 純，折口智樹，江口勝美.

典型的 RS3PE 症候群の一例における診断および治療評価法の検討.

ポスター：溝上明成，川上 純，川尻真也，井田弘明，江口勝美.

トシリズマブが奏功したアミロイドーシス合併関節リウマチの一例

**第 38 回九州リウマチ学会, 2009.9.5-6,
樋口富士男， 久留米.**

一般口演：塚田敏昭，藤川敬太，川上 純，井田弘明，中村英樹，大田俊之，江口勝美. 腹腔内の脂肪織の炎症が主徴と考えられた SLE の一例.

一般口演：藤川敬太，塚田敏昭，川尻真也，岩本直樹，山崎聡士，中村英樹，井田弘明，川上 純，江口勝美.

シクロスポリン静注が奏功した血球貪食症候群合併成人発症スティル病の一例.

一般口演：川尻真也，岩本直樹，古賀智裕，岡田覚丈，喜多潤子，植木幸孝，右田清志，宮下賜一郎，溝上明成，中島宗敏，荒牧俊幸，玉井慎美，中村英樹，井

田弘明, 折口智樹, 川上 純, 江口勝美.
関節リウマチに対するトシリズマブ治療
の市販後一年における臨床成績.

一般口演: 古賀智裕, 川上 純, 山崎聡士,
岩本直樹, 川尻真也, 岡田覚丈, 喜多潤
子, 玉井慎美, 有馬和彦, 井田弘明, 中
村英樹, 折口智樹, 松岡直樹, 坪井雅彦,
右田清志, 宮下賜一郎, 中島宗敏, 溝上
明成, 塚田敏昭, 河部庸次郎, 植木幸孝,
峰 雅宣, 福田孝昭, 江口勝美.
関節リウマチに対するアダリムマブの治
療効果と併用抗リウマチ薬についての検
討.

一般口演: 田口正剛, 川尻真也, 宇野奈
菜子, 岡田覚丈, 岩本直樹, 藤川敬太,
荒巻俊幸, 玉井慎美, 中村英樹, 井田弘
明, 折口智樹, 川上 純, 田口 尚, 江口
勝美.

PTU 誘発 ANCA 関連糸球体腎炎治療経
過中に全身性エリテマトーデスおよびル
ープス腎炎を発症した一例.

一般口演: 小池玄文, 岩本直樹, 岡田覚
丈, 喜多潤子, 古賀智裕, 川尻真也, 蒲
池 誠, 有馬和彦, 玉井慎美, 山崎聡士,
中村英樹, 井田弘明, 川上 純, 折口智樹,
江口勝美.
組織球性壊死性リンパ節炎(菊池病) 発
症後、発熱を繰り返し、SLE の診断に至
った1例.

一般口演: 河久由紀子, 古賀智裕, 山崎
聡士, 岩本直樹, 川尻真也, 岡田覚丈,
喜多潤子, 玉井慎美, 蒲池 誠, 有馬和彦,
折口智樹, 中村英樹, 井田弘明, 川上 純,
江口勝美.

炎症性筋炎と間質性肺炎を合併し overlap
症候群との鑑別を要した Sjogren 症候群
の一例.

**第 18 回日本シェーグレン症候群学会,
2009.9.3- 4, 中村誠司, 福岡.**

一般口演: 中村英樹, 川上 純, 岩本直

樹, 山崎聡士, 井田弘明, 江口勝美.

HTLV-1 関連シェーグレン症候群唾液腺
における異所性胚中心の頻度と CXCL13
の関与.

**第 287 回日本内科学会九州地方会,
2009.11.1, 朔啓二郎, 福岡.**

一般口演: 井上大輔, 岡田覚丈, 中村英
樹, 山崎聡士, 井田弘明, 川上 純, 江
口勝美.筋組織に血管炎を認めた
rheumatoid vasculitis の 1 例.

**第 24 回日本臨床リウマチ学会,
2009.11.20-21, 澤井高志, 岩手.**

一般口演: 折口智樹, 井上晶代, 山口智
美, 風浦芳江, 松尾直美, 阿比留 教生,
有馬和彦, 玉井慎美, 山崎聡士, 中村英
樹, 井田弘明, 川上 純, 江口勝美.

リウマチ・膠原病内科における糖尿病予
備群の検討.

ワークショップ: 玉井慎美, 川上 純, 上谷雅孝,
有馬和彦, 喜多潤子, 岡田覚丈, 川尻真
也, 古賀智裕, 岩本直樹, 山崎聡士, 中
村英樹, 井田弘明, 折口智樹, 青柳 潔,
江口勝美.

早期関節リウマチにおける抗 CCP 抗体価
と骨破壊予測.

**第 37 回日本臨床免疫学会総会,
2009.11.13-15, 住田孝之, 東京.**

一般口演: 田口正剛, 川尻真也, 折口智
樹, 岡田覚文, 古賀智裕, 喜多潤子, 岩
本直樹, 玉井慎美, 有馬和彦, 蒲池 誠,
山崎聡士, 中村英樹, 井田弘明, 川上 純,
江口勝美.

当科において経験した IgG4 関連疾患の 5
症例.

一般口演: 古賀智裕, 山崎聡士, 川尻真
也, 岩本直樹, 岡田覚丈, 喜多潤子, 玉
井慎美, 蒲池 誠, 有馬和彦, 中村英樹,

折口智樹, 井田弘明, 川上 純, 田口 尚, 江口勝美.

急性腎不全と汎血球減少で発症し, 腎生検にて抗リン脂質抗体症候群と診断された原発性シェーグレン症候群の一例.

一般口演: 岩本直樹, 岡田覚丈, 喜多潤子, 古賀智裕, 川尻真也, 蒲池誠, 玉井慎美, 有馬和彦, 山崎聡士, 中村英樹, 折口智樹, 井田弘明, 川上 純, 上谷雅孝, 江口勝美.

関節リウマチにおける生物学的製剤投与前後の手関節 MRI の検討.

一般口演: 岡田覚丈, 玉井慎美, 有馬和彦, 山崎聡士, 中村英樹, 井田弘明, 川上 純, 折口智樹, 江口勝美.

下顎の慢性硬化性骨髄炎に対してエルシトニンが有効であった一例.

国際学会

9th World Congress on Inflammation, 2009.7.6-10, Matsushima K, Tokyo.

ワークショップ: Ida H, Arima K, Kawakami A, Migita K, Eguchi K.

TNF receptor-associated periodic syndrome (TRAPS) in Japan.

イブニングセミナー: Ida H, Arima K, Eguchi K. Autoinflammatory syndrome from the aspect of internal medicine.

ACR/ARHP Scientific Meeting 2009, 2009.10.16-21, Elizabeth A, Philadelphia.

ポスター: Tamai M, Kawakami A, Uetani M, Arima K, Fujikawa K, Iwamoto N, Kawashiri S, Kita J, Okada A, Koga T, Aramaki T, Kamachi M, Yamasaki S, Nakamura H, Ida H, Origuchi T, Aoyagi K, Eguchi K.

A prediction rule for disease outcome in patients with undifferentiated arthritis by

MRI of the wrists and finger joints and serologic autoantibodies: second report regarding to the utility of plain MRI.

ポスター: Koga T, Migita K, Yamasaki S, Tamai M, Kawashiri S, Iwamoto N, Nakamura H, Origuchi T, Ida H, Kawakami A, Eguchi K. Serum amyloid A protein stimulates Th17-related cytokines production in rheumatoid synoviocytes

Annual European Congress of Rheumatology EULAR 2009, 2009.6.10-13, Ferdinand C, Copenhagen, Denmark.

ポスター: Iwamoto N, Kawakami A, Arima K, Nakamura H, Tamai M, Kawashiri S, Fujikawa K, Aramaki T, Kamachi M, Yamasaki S, Origuchi T, Ida H, Eguchi K. Monocyte chemoattractant protein-1 (MCP-1) is important for mononuclear cell infiltration of salivary glands in patients with primary sjogren's syndrome (PSS).

ポスター: Tamai M, Kawakami A, Uetani M, Takao S, Arima K, Iwamoto N, Fujikawa K, Aramaki T, Kawashiri S, Ichinose K, Kamachi M, Nakamura H, Origuchi T, Ida H, Aoyagi K, Eguchi K.

A prediction rule for disease outcome in patients with undifferentiated arthritis using mri of wrists and finger joints and serologic autoantibodies.

G. 知的財産権の出願・登録状況 (予定を含む。)

1. 特許得取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし

III. 研究成果の刊行に関する一覧表

研究成果の刊行に関する一覧表

<雑誌>

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Migita K, Sawakami-Kobayashi K, Maeda Y, Nakao K, Kondoh S, Sugiura M, Kawasumi R, Segawa O, Tajima H, Machida M, Nakamura M, Yano K, Abiru S, Kawasaki E, Yatsuhashi H, Eguchi K, <u>Ishibashi H.</u>	Interleukin-18 promoter polymorphisms and the disease progression of Hepatitis B virus-related liver disease.	Transl Res.	153(2)	91-96	2009
Migita K, Koga T, Torigoshi T, Maeda Y, Miyashita T, Izumi Y, Aiba Y, Komori A, Nakamura M, Motokawa S, <u>Ishibashi H.</u>	Serum amyloid A protein stimulates CCL20 production in rheumatoid synoviocytes.	Rheumatology.	48(7)	741-7	2009
Torigoshi T, Motokawa S, Miyashita T, Maeda Y, Koga T, Nakamura M, Komori A, Aiba Y, Uemura T, Yatsuhashi H, <u>Ishibashi H</u> , Eguchi K, Shindo H, <u>Migita K.</u>	Potentiation of glucocorticoid receptor (GR)-mediated signaling by the immunosuppressant tacrolimus in rheumatoid synoviocytes.	Clin Exp Rheumatol.	27(2)	246-52	2009
Torigoshi T, Motokawa S, Maeda Y, Maeda K, Hiihara T, Takayama G, Taguchi K, Shindo H, <u>Migita K.</u>	Clinical relevance of heparin-PF4 complex antibody in DVT after total joint replacement.	Musculoskeletal Disord.	10	42	2009

Iwamoto N, Kawakami A, Fujikawa K, Aramaki T, Kawashiri SY, Tamai M, Arima K, Ichinose K, Kamachi M, Yamasaki S, Nakamura H, Nakashima M, Mizokami A, Goto A, Fukuda T, Matsuoka N, Ueki Y, Tsukada T, <u>Migita K</u> , Shoumura F, Kawabe Y, Shibatomi K, Mine M, Idaguchi T, Aoyagi K, Eguchi K.	Prediction of DAS28-ESR remission at 6 months by baseline variables in patients with rheumatoid arthritis treated with etanercept in Japanese population.	Mod Rheumatol.	19(5)	488-92	2009
<u>Migita K</u> , Nakamura T, Koga T, Eguchi K.	HLA-DRB1 alleles and rheumatoid arthritis-related pulmonary fibrosis.	J Rheumatol.	37(1)	205-7	2010.
<u>Migita K</u> , Ilyassova B, Kovzel EF, Nersesov A, Abiru S, Maeda Y, Komori A, Ito M, Yano K, Yatsuhashi H, Shimoda S, Ishibashi H, Nakamura M.	Serum BAFF and APRIL levels in patients with PBC.	Clin Immunol.	134(2)	217-25	2010
Koga T, Nishino Y, Makiyama J, Hayashida T, Miyashita T, Izumi Y, Tamai M, Kawakami A, Eguchi K, <u>Migita K</u> .	Serum amyloid A (SAA) is a useful marker to evaluate the disease activity of Takayasu's arteritis.	Rheumatol Int	30(4)	561-3	2010
Yoshimura M, Makiyama J, Koga T, Miyashita T, Izumi Y, Torigoshi T, Motokawa S, Eguchi K, <u>Migita K</u> .	Successful treatment with tocilizumab in a patient with refractory adult-onset Still's disease (AOSD).	Clin Exp Rheumatol	28(1)	141-142	2010

Nishino Y, Tamai M, Kawakami A, Koga T, Makiyama J, Maeda Y, Jiuchi Y, Miyashita T, Izumi Y, Eguchi K, <u>Migita K.</u>	Serum levels of BAFF for assessing the disease activity of Takayasu arteritis.	Clin Exp Rheumatol.			In press
<u>Migita K.</u> , Torigoshi T, Jiuchi Y, Motokawa S, Ito M, Miyashita T, Koga T, Izumi Y, Yasunami M.	Protracted synovitis without systemic manifestations in familial Mediterranean fever (FMF).	Clin Exp Rheumatol.			In press
Yasunaga Y, Miyashita T, Makiyama J, Koga T, Izumi Y, Kitazato A, Kobayashi S, Fujioka H, Matsumoto A, Ito M, <u>Migita K.</u>	A case of gastric cancer presenting as polymyalgia rheumatic.	Clin Exp Rheumatol.			In press
Imadachi H, Imadachi S, Koga T, Miyashita T, Izumi Y, Takayama H, Nakamichi C, Hamawaki M, Yamaguchi H, Matsumura S, Ito M, Maeda K, Motokawa S, Sasaki O, <u>Migita K.</u>	Successful treatment of refractory cardiac tamponade due to rheumatoid arthritis using pericardial drainage.	Rheumatol Int.			In press
<u>Migita K.</u> , Ueda-Nakata R, Masuda T, Miyashita T, Koga T, Izumi Y, Ichinose K, Ezaki H, Ito M, Motomura M, Eguchi K.	Macrophagic myofasciitis associated with rheumatoid arthritis.	Rheumatol Int.			In press
<u>Migita K.</u> , Umeno T, Miyagawa K, Izumi Y, Sasaki E, Kakugawa T, Ito M, Kinoshita A, Miyashita T.	Development of interstitial pneumonia in a rheumatoid arthritis patient induced by isoniazid for tuberculosis chemoprophylaxis.	Rheumatol Int.			In press

井田弘明, 右田清志, 江口勝美.	わが国におけるTRAPSの診断と治療.	リウマチ科.	41(1)	62-70	2009
本吉康英, 右田清志, 石橋大海.	PBCと自己免疫性肝炎.	Annual Review II 肝臓 w 消化器.		14	2009
右田清志, 小森敦正, 石橋大海.	治療抵抗性自己免疫性肝炎.	肝胆膵.	59(1)	125-129	2009
右田清志, 古賀智裕, 和泉泰衛, 宮下賜一郎, 石橋大海.	自己炎症疾患 - 家族性地中海熱を中心に -.	医療.	63(6)	63-369	2009
右田清志.	自己炎症疾患 - 家族性地中海熱の基礎と臨床 -.	九州リウマチ.	29(2)	74-81	2009
上原里程, 屋代真弓, 中村好一, 柳川洋, 菌部友良.	川崎病容疑例 (狭義の不全型) の疫学的特徴.	日本小児科学会雑誌.	114(3)	497-502	2010
Oshima K, Yamazaki K, Nakajima Y, Kobayashi A, Kato T, Ohara O, Agematsu K.	A case of Familial Mediterranean fever associated with compound heterozygosity for the pyrin variant L110P-E148Q/M680I in Japan.	Modern Rheumatology.	20(2)	193-5	2010
Shigemura T, Agematsu K, Yamazaki T, Eriko K, Yasuda G, Nishimura K, Koike K.	Femoral osteomyelitis due to <i>Cladophialophora arxii</i> in a patient with chronic granulomatous disease.	Infection.	37(5)	469-73	2009
Minegishi Y, Saito M, Nagasawa M, Takada H, Harera T, Tsuchiya S, Agematsu K, Yamada M, Kawamura N, Ariga T, Tsuge I, Karasuyama H.	Molecular explanation for the contradiction between systemic Th17 defect and localized bacterial infection in hyper-IgE syndrome.	J Exp Med.	206(6)	1291-301	2009

Sekiguchi Y, Ichi- kawa M, Takamo- to M, Sugane K, Honjo T, <u>Agema- tsu K.</u>	Antibodies to myelin oligodendrocyte glycoprotein are not involved in the severity of chronic non-relapsing experimental autoimmune encephalomyelitis.	Immunology Letters.	122(2)	145-9	2009
Nagumo H, Abe J, Kano H, Yamazaki K, Yamazaki T, Kobayashi N, Koike K, Sugane K, Saito H, <u>Agematsu K.</u>	Distinct response in maintenance for human naive and memory B cells via TCL1/Akt and IL-21 receptor pathways.	Cellular Immunology.	256 (1-2)	56-63	2009
Kobayashi S, Haruo N, Sugane K, Ochs HD, <u>Agematsu K.</u>	Interleukin-21 stimulates B-cell immunoglobulin E synthesis in human beings concomitantly with activation-induced cytidine deaminase expression and differentiation into plasma cells.	Hum Immunol.	70 (1)	35-40	2009
<u>上松一永.</u>	【最新・自己免疫疾患Update 研究と治療の最前線】自己免疫疾患の病因 疾患ゲノム解析 自己炎症症候群と遺伝子異常.	医学のあゆみ.	230(9)	620-625	2009
山下りか, 佐藤友紀, 本蔵賢治, 高橋通規, 海瀬和郎, 山崎和子, <u>上松一永.</u>	診断までに8年間を要した家族性地中海熱の1例.	日本内科学会雑誌.	98	1114-1116	2009
山崎和子, 山崎崇志, 増本純也, 鈴木彩子, 矢崎正英, <u>上松一永.</u>	注目される新しい病態・疾患概念と臨床検査 血液疾患編 自己炎症疾患としての家族性地中海熱.	臨床病理.	57(4)	371-381	2009
山崎和子, <u>上松一永.</u>	【小児疾患における臨床遺伝学の進歩】話題の疾患遺伝子 自己炎症疾患 .	小児科	50(7)	1152-1157	2009

Masumoto J, Yamazaki T, Ohta K, Nakayama J, <u>Agematsu K.</u>	Interleukin-1 β suppression in Nod2-defect Blau syndrome.	Arthritis and Rheumatism..	60(8)	2544-2545	2009
<u>増本純也.</u>	最近の話題：自己炎症疾患.	Laboratory and Clinical Practice.	27(2)	90-92	2009
<u>増本純也, 上松一永.</u>	今月の話題：自己炎症疾患.	Medical Practice.			印刷中
<u>Tsuchiya-Suzuki A, Yazaki M, Nakamura A, Yamazaki K, Agematsu K, Matsuda M, Ikeda S.</u>	Clinical and genetic features of familial Mediterranean fever in Japan.	J Rheumatol.	36(8)	1671-6	2009
Shimada K, Matsui T, Kawakami M, Hayakawa H, Futami H, Michishita K, Takaoka H, Ikenaka T, Komiya A, Nakayama H, Hagiwara F, Sugii S, <u>Furukawa H, Ozawa Y, Tohma S.</u>	Diffuse chronic leptomeningitis with seropositive rheumatoid arthritis: report of a case successfully treated as rheumatoid leptomeningitis.	Mod Rheumatol.	19(5)	556-62	2009
<u>Furukawa H, Kitazawa H, Kaneko I, Matsubara M, Nose M, Ono M.</u>	Role of 2B4-mediated signals in the pathogenesis of a murine hepatitis model independent of Fas and Valpha14 NK T cells.	Immunology.	128(1S)	e151-8	2009
Hikita A, Tanaka N, Yamane S, Ikeda Y, <u>Furukawa H, Tohma S, Suzuki R, Tanaka S, Mitomi H, Fukui N.</u>	Involvement of a disintegrin and metalloproteinase 10 and 17 in shedding of tumor necrosis factor-alpha.	Biochem Cell Biol.	87(4)	581-93	2009

Furukawa H, Kitazawa H, Kaneko I, Kikuchi K, Tohma S, Nose M, Ono M.	Mast Cells Inhibit CD8 ⁺ T Cell-Mediated Rejection of a Malignant Fibrous Histiocytoma-Like Tumor: Involvement of Fas-Fas Ligand Axis.	Am J Immunol	5(3)	89-97	2009
Furukawa H, Tohma S, Kitazawa H, Komori H, Nose M, Ono M.	Role of SLAM-associated protein in the pathogenesis of autoimmune diseases and immunological disorders.	Arch Immunol Ther Exp.	58(1)	37-44	2010
古川宏	膠原病の動物モデル.	Clinical Neuroscience.	28(2)	156-8	2010
Numata Y, Toyoshima S, Okuyama K, Yasunami M, Suzuka I.	S1-state internal conversion of isolated azulene derivatives.	J Phys Chem A.	113(35)	9603-11	2009
Hinohara K, Nakajima T, Yasunami M, Houda S, Sasaoka T, Yamamoto K, Lee BS, Shibata H, Tanaka-Takahashi Y, Takahashi M, Arimura T, Sato A, Naruse T, Ban J, Inoko H, Yamada Y, Sawabe M, Park JE, Izumi T, Kimura A.	Megakaryoblastic leukemia factor-1 gene in the susceptibility to coronary artery disease.	Hum Genet.	126(4)	539-47	2009
Helegbe GK, Huyen NT, Yanagi T, Shuaibu MN, Yamazaki A, Kikuchi M, Yasunami M, Hirayama K.	Rate of red blood cell destruction varies in different strains of mice infected with Plasmodium berghei-ANKA after chronic exposure.	Malar J.	8	91	2009

Kominami S, Tanabe N, Ota M, Naruse TK, Katsuyama Y, Nakanishi N, Tomoike H, Sakuma M, Shirato K, Takahashi M, Shibata H, Yasunami M, Chen Z, Kasahara Y, Tatsumi K, Kuriyama T, Kimura A.	HLA-DPB1 and NFκB1 may confer the susceptibility to chronic thromboembolic pulmonary hypertension in the absence of deep vein thrombosis.	J Hum Genet.	54(2)	108-114	2009
Iwamoto N, Kawakami A, Tamai M, Fujikawa K, Arima K, Aramaki T, Kawashiri S, Ichinose K, Kamachi M, Nakamura H, Origuchi T, <u>Ida H</u> , Eguchi K.	Determination of the subset of Sjogren's syndrome with articular manifestations by anti-cyclic citrullinated peptide antibodies.	J Rheumatol.	36 (1)	113-115	2009
Tamai M, Kawakami A, Uetani M, Takao S, Arimatsu K, Iwamoto N, Fujikawa K, Aramaki T, Kawashiri SY, Ichinose K, Kamachi M, Nakamura H, Origuchi T, <u>Ida H</u> , Aoyagi K, Eguchi K.	A prediction rule for disease outcome in patients with undifferentiated arthritis using magnetic resonance imaging of the wrists and finger joints and serologic autoantibodies.	Arthritis Rheum.	61(6)	772-8	2009
<u>Ida H</u> , Aramaki T, Nakamura H, Fujikawa K, Arima K, Tamai M, Kamachi M, Satoh K, Origuchi T, Kawakami A, Furuichi I, Kawabe Y, Eguchi K.	Different expression levels of TNF receptors in the rheumatoid synovial macrophages derived from surgery and a synovectomy as detected by a new flow cytometric analysis.	Cytotechnology	60(1-3)	161-164	2009

Iwamoto N, Kawakami A, Fujikawa K, Aramaki T, Kawashiri SY, Tamai M, Arima K, Ichinose K, Katsuchi M, Yamashita S, Nakamura H, Nakashima M, Mizokami A, Goto A, Fukuda T, Matsuoka N, Ueki Y, Tsukada T, Migita K, Shoumura F, Kawabe Y, Shibatomi K, Mine M, <u>Ida H</u> , Origuchi T, Aoyagi K, Eguchi K.	Prediction of DAS28-ESR remission at 6 months by baseline variables in patients with rheumatoid arthritis treated with etanercept in Japanese population.	Mod Rheumatol.	19(5)	488-492	2009
Nakamura H, Kamiya-Matsumoto K, Kawakami A, <u>Ida H</u> , Hayashi T, Sato S, Kamihira S, Eguchi K.	A case of cold agglutinin disease in the course of treatment for polymyalgia rheumatica.	Mod Rheumatol.	19(4)	427-430	2009
Nakamura H, Kawakami A, Hayashi T, Nakamura T, Iwamoto N, Yamasaki S, <u>Ida H</u> , Eguchi K.	Low prevalence of ectopic germinal centre formation in patients with HTLV-I-associated Sjogren's syndrome.	Rheumatology.	48(7)	854-855	2009
Nishiura Y, Nakamura T, Fukushima N, Nakamura H, <u>Ida H</u> , Aramaki T, Eguchi K.	Disulfide-mediated apoptosis of human T-lymphotropic virus type-I (HTLV-I)-infected cells in patients with HTLV-I-associated myelopathy/tropical spastic paraparesis.	Antivir Ther.	14(4)	533-542	2009

Fujikawa K, Kawakami A, Kaji K, Fujimoto M, Kawashiri S, Iwamoto N, Aramaki T, Ichinose K, Tamai M, Kamachi M, Nakamura H, <u>Ida H</u> , Origuchi T, Ishimoto H, Mukae H, Kuwana M, Kohno S, Takehara K, Sato S, Eguchi K.	Association of distinct clinical subsets with myositis-specific autoantibodies towards anti-155/140-kDa polypeptides, anti-140-kDa polypeptides, and anti-aminoacyl tRNA synthetases in Japanese patients with dermatomyositis: a single-center, cross-sectional study.	Scand J Rheumatol.	38(4)	263-267	2009
Nakamura H, Kitahara J, Kawakami A, Yamasaki S, <u>Ida H</u> , Sakamoto N, Furusu A, Eguchi K.	Multiple bone fractures due to Fanconi's syndrome in primary Sjogren's syndrome complicated with organizing pneumonia.	Rheumatol Int.	30(2)	265-267	2009
Aramaki T, Kawakami A, Iwamoto N, Fujikawa K, Kawashiri S, Tamai M, Arima K, Kamachi M, Yamasaki S, Nakamura H, Nakashima M, Mizokami A, Furuyama M, Matsuoka N, Ueki Y, <u>Ida H</u> , Origuchi T, Aoyagi K, Eguchi K.	Prediction of DAS28-CRP remission in patients with rheumatoid arthritis treated with tacrolimus at 6 months by baseline variables.	Mod Rheumatol.	19(6)	652-656	2009
Nakamura H, Okada A, Kawakami A, Yamasaki S, <u>Ida H</u> , Masuda T, Fukuda T, Satoh K, Yoshimura T, Nakashima M, Hayashi T, Eguchi K.	Rheumatoid vasculitis of crural muscles confirmed by muscle biopsy in the absence of inflammatory myopathy: histologic and MRI study.	Rheumatol Int.			In press
Nakamura H, Okada A, Kawakami A, Yamasaki S, <u>Ida H</u> , Motomura M, Imanishi D, Eguchi K.	Isoniazid-triggered pure red cell aplasia in systemic lupus erythematosus complicated with myasthenia gravis.	Rheumatol Int.			In press

Kawashiri SY, Kawakami A, Fujikawa K, Iwamoto N, Aramaki T, Tamai M, Nakamura H, Origuchi T, <u>Ida H</u> , Eguchi K.	Type B insulin resistance complicated with systemic lupus erythematosus.	Intern Med.	49(5)	487-90	2010
Kawashiri S, Kawakami A, Yamasaki S, Imazato T, Iwamoto N, Fujikawa K, Aramaki T, Tamai M, Nakamura H, <u>Ida H</u> , Origuchi T, Ueki Y, Eguchi K.	Effects of the anti-interleukin-6 receptor antibody, tocilizumab, on serum lipid levels in patients with rheumatoid arthritis.	Rheumatol Int.			In press
Aramaki T, <u>Ida H</u> , Izumi Y, Fujikawa K, Huang M, Arima K, Tamai M, Kamachi M, Nakamura H, Kawakami A, Origuchi T, Matsuoka N, Eguchi K.	A significantly impaired natural killer cell activity due to a low activity on a per-cell basis in rheumatoid arthritis.	Mod Rheumatol.	19(3)	245-252	2009
Fujikawa K, Kawakami A, Tamai M, Uetani M, Takao S, Arima K, Iwamoto N, Aramaki T, Kawashiri S, Ichinose K, Kamachi M, Nakamura H, Origuchi T, <u>Ida H</u> , Aoyagi K, Eguchi K.	High serum cartilage oligomeric matrix protein determines the subset of patients with early-stage rheumatoid arthritis with high serum C-reactive protein, matrix metalloproteinase-3, and MRI-proven bone erosion.	J Rheumatol.	36(6)	1126-1129	2009
Sakamoto J, Origuchi T, Okita M, Nakano J, Kato K, Yoshimura T, Izumi S, Komori T, Nakamura H, <u>Ida H</u> , Kawakami A, Eguchi K.	Immobilization-induced cartilage degeneration mediated through expression of hypoxia-inducible factor-1alpha, vascular endothelial growth factor, and chondromodulin-1.	Connect Tissue Res.	50(1)	37-45	2009

Kawashiri SY, Kawakami A, Iwamoto N, Fujikawa K, Aramaki T, Tamai M, Arima K, Kamachi M, Yamasaki S, Nakamura H, Tsurumoto T, Kono M, Shindo H, <u>Ida H</u> , Origuchi T, Eguchi K.	Proinflammatory cytokines synergistically enhance the production of chemokine ligand 20 (CXCL20) from rheumatoid fibroblast-like synovial cells in vitro and serum CXCL20 is reduced in vivo by biologic disease-modifying antirheumatic drugs.	J Rheumatol.	36(11)	2397-402	2009
井田弘明, 江口勝美.	【自己炎症疾患】自己炎症疾患(遺伝性周期熱症候群)とは.	Topics in Autoimmun.	8(3)	4-7	2009
井田弘明, 江口勝美.	Autoinflammation(自己炎症).	感染・炎症・免疫.	39(2)	92-105	2009
井田弘明, 江口勝美.	【膠原病 病態解明・新規治療の光明】 特論 新しい疾患概念'自己炎症症候群'.	日本臨床,	67(3)	626-636	2009

IV. 資料

診療科 責任者様

2009年10月1日

厚生労働省厚生労働科学研究費補助金（難治性疾患克服研究事業）
「本邦における家族性地中海熱の実態調査」研究班

拝啓

秋冷の候、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

このたび、厚生労働省 難治性疾患克服事業の一環として、わが国における家族性地中海熱の実態を把握するため、全国疫学調査を実施することとなりました。

つきましては、ご多忙中のところ誠に恐縮でございますが、過去1年間（2008年7月1日～2009年6月30日）の貴診療科における該当疾患患者数（疑い例ふくむ）を、同封の「家族性地中海熱の診断基準」をご参照いただき、同封の葉書にご記入の上、2009年11月15日までにご返送くださいますようお願い申し上げます。

また該当する患者がない場合も、全国の患者数推計に必要ですので、葉書の「1.なし」に○をつけ、ご返送くださいますようお願い申し上げます。

該当する患者ありの場合には、後日個人票をお送りさせていただきますので、あわせてご協力くださいますようお願い申し上げます。

この件に関しましてご不明の点がございましたら、下記までお問い合わせください。

何卒ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

敬具

国立病院機構疫学調査担当：〒228-8522 神奈川県相模原市桜台 18-1
独立行政法人国立病院機構相模原病院 臨床研究センター
古川 宏
電話：042-742-8311/FAX：042-742-7990

臨床事項に関する問い合わせ先：〒856-8562 長崎県大村市久原 2丁目 1001-1
独立行政法人国立病院機構長崎医療センター臨床研究センター
右田 清志
電話：0957-52-3121/FAX：0957-53-6675

全国疫学調査事務局：〒329-0498 栃木県下野市薬師寺 3311-1
自治医科大学地域医療学センター公衆衛生学部門 公衆衛生学
中村 好一